第３回循環資源利用促進税事業検証懇話会開催概要

１　開催日時
　　平成２８年６月３日（金）　１５時００分から１６時５０分まで

２　開催場所
　　北海道立道民活動センター（かでる２・７）　９２０会議室
　　（札幌市中央区北２条西７丁目）

３　出席者
（１）懇話会委員（敬称略、５０音順）

所　属	職	氏　名	出 欠
北海道農業協同組合中央会	農業振興部長	浅野　正昭	欠席
北海道大学大学院工学研究院	准教授	石井　一英	出席
北海道漁業協同組合連合会	環境部長	井下　泰浩	出席
北海道経済連合会	理事 事務局長	菅原　光宏	出席
地方独立行政法人　北海道立総合研究機構　工業試験場	材料技術部長	髙橋　徹	出席
公益社団法人　北海道産業廃棄物協会	副会長	寺嶋　忠雄	出席
北海道中小企業団体中央会	連携支援部長	馬込　毅	出席
一般社団法人　北海道食品産業協議会	専務理事	矢倉　武志	出席

（２）事務局

所　属	職	氏　名
北海道環境生活部	環境局長	湯谷　仁康
〃　　環境局循環型社会推進課	課　長	田畑　寿幸
〃	主　幹	木村　尚司
〃	主　査	早田　武志
〃	主　任	堀　英樹

４　開催概要

〇局長より挨拶

・税事業の検証、検討を行い、１０月を目途に報告書をまとめたい。

・税制度導入以来、道は、循環税を財源として産廃の排出抑制やリサイクル設備整備、リサイクルに関する情報提供などに取り組んできたが、中核である設備整備については、Ｈ２８年度においても３年連続で４０件を超える応募があった。

・また、昨年度実施した事業者等へのアンケート調査結果からも、税導入による効果は一定程度認められる。

・本懇話会は、本日を含め今後３回の開催を予定しており、委員の皆様から様々な意見をお願いしたい。

（１）税事業検討に関する報告書構成案について

〇資料３、４に基づき、事務局より説明。

〇指摘

・資料３の４効果が検証のポイントになると思われる。設備整備に係る再生利用量やリサイクル率の向上などについてはこの内容で良いと思われるが、設備整備以外の事業の効果や課題などについても最近５年間の状況を整理する必要がある。
また、設備整備については、業種別の他に設備（機械）別に補助内容を整理するのも一案。（石井座長）

・設備整備の効果だけでなく課題等についても確認すべき。
また、効果についても当初の計画どおりの結果となったのか確認が必要。
（寺嶋委員）

（２）第２回懇話会の指摘事項への対応等について

〇資料５～８に基づき、事務局より説明

〇指摘

・廃棄物処理計画では研究開発と設備整備が明確に区別されているが研究開発から設備整備を段階的に活用した事例を示してほしい。（石井座長）

・指摘事項⑦の関係で、工事残土利用は循環資源として必要と思う。ただ、残土には重金属が含まれるなど河川への流出による海洋汚染が懸念されることから慎重に対応願う。（井下委員）

（３）循環資源利用促進施設整備補助事業の募集状況について

〇資料９、１０に基づき、事務局より説明

〇指摘

・設備整備については、効果の高い事業が少なければ、予算を残すということもあるとのことで、財源の執行を厳正に行っていることは理解した。一方で基金残高が多額になっているのだから、当初予算にしばられず、柔軟に対応することを検討して

はどうか。（菅原委員）

- リサイクルを進めていくと再生利用量は順調に増加していくが、一定のレベルで量的には進みにくくなる。今後は、熱エネルギー回収や温暖化対策といった視点で質的なリサイクルを進めることも必要ではないか。（石井座長）
- 次回は、今回の意見等に対する対応について道で整理願う。（石井座長）

（４）その他

〇事務連絡

次回の懇話会については、７月下旬若しくは８月上旬を予定しているので後日、日程調整の連絡。